

1 意味論と語用論 (§1.1)

(1) マーク・トウェイン

“a good man in the worst sense of the word”

(最も悪い意味でいい男だ)

→ コミュニケーション成立

(2) 『鏡の国のアリス』 ハンプティ・ダンプティ

“When I use a word, it means just what I choose it to mean—neither more nor less.”

(私が単語を使う時には、その単語には私が選んだ意味しかないんだ—それ以上でもそれ以下でもなく。)

→ コミュニケーション不成立

- 語の意味は言語共同体によって共有されていないといけない。
- 意味拡張のしきたりも共有されていないといけない。

意味論と語用論の区別

- 言語の意味研究では、**意味論** (semantics) と **語用論** (pragmatics) の二領域が区別される。
- どちらも言語形式（語や文など）と意味の関係の仕方を研究する。
※関係の仕方には規則性が存在
→ 言語習得では、個別の語彙項目の意味だけでなく、それらが組み合わさってできる表現を解釈するための規則も習得
- 意味論と語用論では扱う意味の性質が異なる。
意味論 言語形式に固有の意味が対象
語用論 言語形式が使用されることにより生じる意味が対象

2 意味の3つのレベル (§1.2)

1. 語の意味 → 語彙意味論 (lexical semantics) —この授業ではあまり扱わない
2. 文の意味 → 構成意味論 (compositional semantics)
3. 発話 (utterance) の意味 (= 「話し手の意味 (speaker meaning)」) → 語用論

Q1. 文と発話の違いは？

Q2. 次の発話 (3) の意味を3つのレベルに分けて説明しなさい。

(3) 潮州語 (Kroeger 2005:1)

Luu chya? pa bɔy?

you eat full not.yet

‘Have you already eaten?’

3 形式と意味の関係 (§1.3)

- オノマトペ（擬音語・擬態語）を除き、語とその意味の関係は恣意的（arbitrary）。(4)
- それに対し、語の組み合わせとその意味の関係は恣意的ではない。構成性（compositionality）を持つ。(5)

- | | | | | | |
|-----|----|-----|-----|----|--------|
| (4) | a. | 黄色い | (5) | a. | 黄色い潜水艦 |
| | b. | 丸い | | b. | 丸い潜水艦 |
| | c. | 潜水艦 | | c. | 黄色い電車 |
| | d. | 電車 | | d. | 丸い電車 |

- Q. もし複数の語からなる表現と意味の関係も恣意的だとすれば、どのような事態が生じるか？

4 「意味する」とはどういう意味か？ (§1.4)

- 言語形式の意味はどのように記述したらよいか？

1. 同じ言語の別の表現により記述

→ 循環問題の危険性

(6) 『広辞苑』（第五版）

a. **げん-ご**【言語】

①人間が音声または文字を用いて思想・感情・意志などを伝達したり、理解したりするために用いる記号体系。また、それを用いる行為。ことば。

b. **こと-ば**【言葉・詞・辞】

①ある意味を表すために、口で言ったり字に書いたりするもの。語。言語。

2. 記述対象の言語とは違う別言語（=**メタ言語**）で記述

(7) Wiktionary*¹

言語（*hiragana* げんご, *rōmaji* gengo）

1. language, speech

(8) 『越日・日越（ベトナム語・日本語）オンライン辞書』*²

ngôn, ngôn ngữ, tiếng nói

- 日本語やベトナム語も自然言語であり、各言語の語はやはり分析の対象
- そのため、循環問題は残る

*¹ <https://en.wiktionary.org/wiki/言語#Japanese>, アクセス日：2019/10/03

*² <https://www.viet-jo.com/dictionary/search.php?t=jp&s=言語>, アクセス日：2019/10/03

- 自然言語でないメタ言語を用いる必要性
→ 形式論理学

(9) 対象言語とメタ言語の表現の書き分け

- a. 「意味する」は何を意味する？
- b. What does mean mean?

- 意味は、言語以外にも生じる。
例：ボディ・ランゲージ、服装、表情など
- 言語学の意味論・語用論は普通、言語表現に起因する意味を扱う。

真理の対応理論 (correspondence theory of truth)

- ある陳述が真であるというのは、その意味と描写される事態が対応するということ。
- ある言語形式の意味が分かる。
＝その言語形式が具体的な状況（論議領域；universe of discourse）において真であると判断できる。

5 発すること、意味すること、行うこと (§1.5)

- 文を発することで、何かを行うことができる。そのような行為を**発話行為** (speech act) という。
- 話し手の発話の意味を完全に理解するには、聞き手は以下の3点に答えられる必要がある。

1. 話し手は何を言ったか？

＝文字通りの意味（ポール・グライス (Paul Grice) のいう「**言われたこと** (what is said)」)

2. 話し手は何を伝えようとしたか？ (グライスのいう「**含意** (implicature)」)

3. 話し手はその発話により何をしようとしたか？＝発話行為は何か？

- (10) a. *Please* pass me the salt.
- b. Can you *please* pass me the salt?

- どちらの文も**要求** (request) の発話行為を表す。
- please は文の真偽には影響を与えず、**ポライトネス** (politeness) を表す。

Q1. 各文の文字通りの意味は何か？

Q2. 同じ要求の発話行為を表す日本語文をいくつか作り、それぞれの文字通りの意味を考えよう。

直接発話行為 (direct speech act) 文字通りの意味と発話行為が一致する。

間接発話行為 (indirect speech act) 文字通りの意味と発話行為が一致しない。発話行為を理解するために、語用論的推論が必要。

参考文献

Kroeger, Paul. 2005. *Analyzing Grammar*. Cambridge: Cambridge University Press.